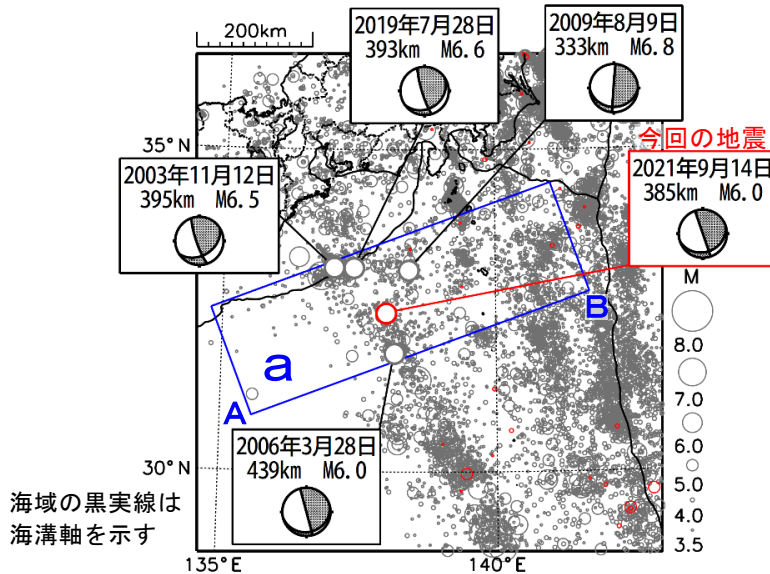


9月14日 東海道南方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2021年9月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 3.5$)

2021年9月以降の地震を赤く表示、図中の発震機構はCMT解



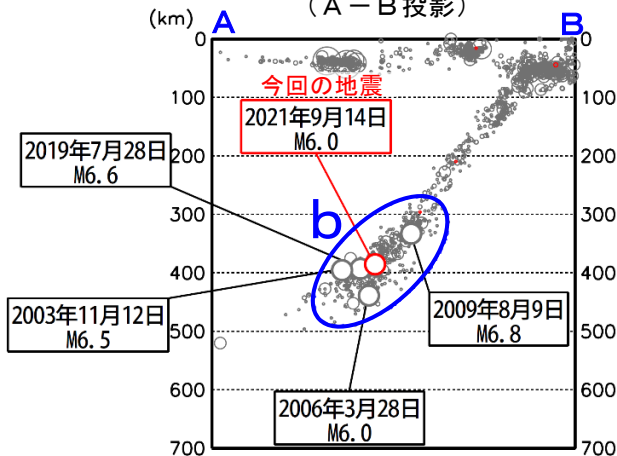
2021年9月14日07時46分に東海道南方沖の深さ385kmで $M 6.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は太平洋プレート内部の深いところで発生した。発震機構（CMT解）は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

この地震により、茨城県、栃木県及び東京都で震度3を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した。震央付近よりも、震央から離れた地域で大きな揺れを観測しており、この現象は「異常震域」と呼ばれている（p.81～82参照）。

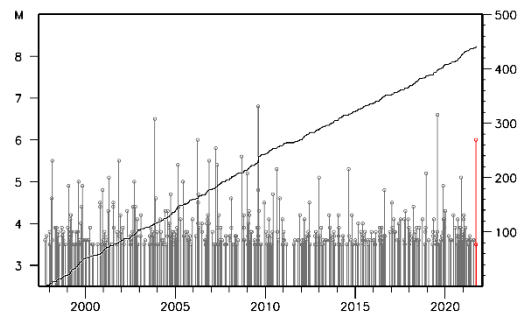
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2009年8月9日に $M 6.8$ の地震（最大震度4）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近から小笠原諸島西方沖にかけて、 $M 7.0$ 以上の深い地震が時々発生している。

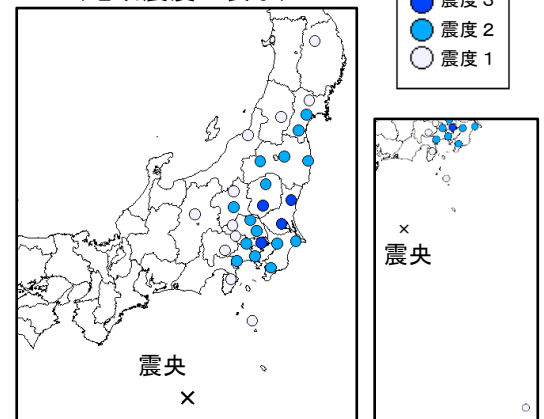
領域a内の断面図
(A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

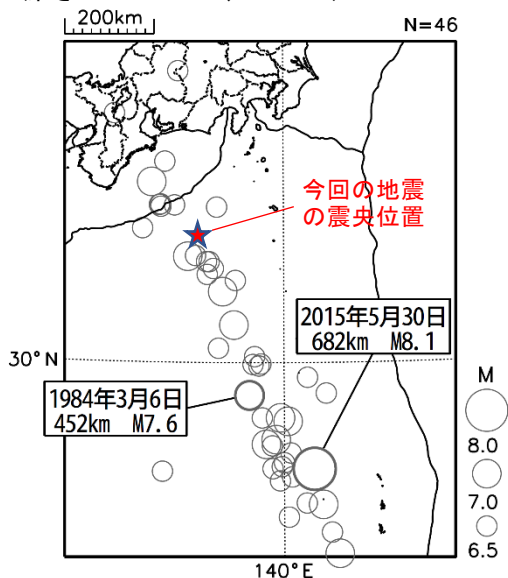


今回の地震の震度分布
(地域震度で表示)



震央分布図

(1919年1月1日～2021年9月30日、
深さ100～700km、 $M \geq 6.5$)



海域の黒実線は海溝軸を示す

左図のM-T図

